

令和6年度 第1回

水戸市新荘市民センター運営審議会

(日時) 令和6年6月21日(金)

午前10時30分から

(場所) 新荘市民センター 小会議室

次 第

1 開 会

2 会長あいさつ

3 議 題

- (1) 令和5年度事業報告について
- (2) 令和5年度利用状況報告について
- (3) 令和6年度運営方針及び重点目標について
- (4) 令和6年度事業計画について
- (5) 令和6年度定期講座開設状況について
- (6) その他

3 閉 会

(1)令和5年度事業報告について

新莊市民センター事業報告書（その1）

番号	事業名	開催日	対象者	人員	内容
1	定期講座	5月 ～ 3月	受講生	428	1教室25クラブ
		4月1日～ 3月31日	一般住民	-	作品展示（市民センターサロン） 絵てがみ・書道・ペン習字
2	子ども教室	5月～3月	地区小学生	123	子どもエコクラブ「自然環境学習」 講師：茨城県環境アドバイザー 中村恵美子氏
		7月22日	地区小学生と 保護者	16	親子（祖父母）料理教室 講師：新莊地区食生活改善推進員
		8月8日	地区小学生	22	絵画教室 講師：別所恵子氏
3	女性学級	6月13日	地区女性	41	講演「楽しい交通安全教室」 講師：生活安全課 職員
		9月26日	〃	49	講演「呼吸でつながる心と身体」 講師：ヨガインストラクター YASUKO
		10月24日	〃	40	移動学習 （群馬県）ガトーフェスタハラダ（埼玉県）渋沢栄一記念館・資料館
		11月17日	〃	39	講演「大切な人を思う 朗読のひととき」 講師：見澤淑恵氏
4	高齢者学級	6月27日	地区高齢者	32	講演「ニセ電話詐欺の被害を防ぐために」 講師：水戸警察署 職員
		9月4日	〃	14	講演「懐かしい歌を歌おう」 講師：馬立明美 吉成むつみ
		11月13日	〃	28	移動学習 （茨城県）イトー製菓工場
		11月21日	〃	26	実演「脳トレ」「シルバーリハビリ体操」 講師：いきいき健康体操指導員・シルバーリハビリ体操指導士
5	成人講座	12月12日	地区住民	15	講座「はじめてのスマホ講座」 講師：スマートフォンアドバイザー
6	新莊ふれあいまつり	3月 3日	地区住民	300	定期講座発表会と体験教室 市民センター利用団体発表会 バザー・模擬店
7	家庭教育強化事業	3月15日	9か月～3歳の子 と保護者	38	講座 親と子の音楽あそび 講師：NPOリズムロード水戸（音楽療法研究会） 代表 馬立明美氏

新莊市民センター事業報告書（その2）

番号	事業名	開催日	対象者	人員	内容
1	新莊夏まつり	7月30日	地区住民	2,500	新莊小学校校庭 新莊小学校管楽合奏部, はまゆう会 水戸商チアダンス部, 水戸商業高校サッカー部 茨城大学中南米音楽, 模擬店
2	市民運動会	10月7日	地区住民	400	新莊小学校校庭 運動会種目(10種目)
3	歩く会	11月12日	地区住民	37	「秋の水戸路を歩く」 歴史館, 借楽園, 千波湖, もみじ谷, 桜山
4	エコ・リサイクル 研修会	1月17日	地区住民	33	移動学習 (茨城県) 関東リサイクル工場・エフピコ
5	かるた大会	1月21日	地区小学生	21	水戸郷土かるた新莊学区大会
6	ユニカール大会	5月21日	地区住民	25	新莊市民センター 小学校
		2月18日	地区住民	26	新莊市民センター ホール
7	福祉講演会	2月28日	地区住民	16	講演「マイナンバー制度について」 講師: デジタルイノベーション課
8	子育て広場	毎月 第4金曜日	未就園児 とその保護者	119	親子のあそび場・保護者同士の情報交換の場の見守り活動

(2) 令和5年度利用状況について

表-1 令和5年度新荘市民センター利用状況(使用者区分別月別)

令和5年4月～令和6年3月

区分	市民センター		社教団体		市		県		一般		合計	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
4月	38	472	5	58	7	141	0	0	83	769	133	1,440
5月	43	655	10	262	8	196	0	0	79	689	140	1,802
6月	53	777	5	82	8	170	0	0	78	733	144	1,762
7月	50	696	8	151	9	171	0	0	78	714	145	1,732
8月	26	353	5	56	5	59	0	0	61	531	97	999
9月	49	746	7	171	10	164	1	5	70	668	137	1,754
10月	52	699	9	127	6	132	0	0	69	555	136	1,513
11月	53	670	4	83	8	137	0	0	71	583	136	1,473
12月	54	666	3	37	9	173	0	0	69	596	135	1,472
1月	49	638	5	119	7	130	0	0	63	507	124	1,394
2月	43	547	1	13	5	100	0	0	73	586	122	1,246
3月	49	951	3	42	6	109	0	0	68	599	126	1,701
合計	559	7,870	65	1,201	88	1,682	1	5	862	7,530	1,575	18,288
前年度 合計	585	7,866	59	884	86	2,160	3	27	807	7,365	1,540	18,302
前年度比 (%)	95.6%	100.1%	110.2%	135.9%	102.3%	77.9%	100.0%	100.0%	106.8%	102.2%	102.3%	99.9%

※ 一般には図書貸出者も含む。

表-2 令和5年度新莊市民センター利用状況(室別人数)

令和5年4月～令和6年3月

月	ホール	和室	会議室	調理室	図書室 (貸出人数)	合計	前年度 合計	前年度比 (%)	コミュニティー ルーム
4月	699	321	408	0	12	1,440	1,412	102.0%	0
5月	1,018	316	446	12	10	1,802	1,404	128.3%	2
6月	921	384	439	9	9	1,762	1,854	95.0%	0
7月	886	312	503	27	4	1,732	1,483	116.8%	0
8月	523	197	251	25	3	999	978	102.1%	4
9月	1,054	305	374	14	7	1,754	1,632	107.5%	0
10月	814	325	348	26	0	1,513	1,552	97.5%	4
11月	781	318	363	11	0	1,473	1,609	91.5%	0
12月	750	298	402	22	0	1,472	1,601	91.9%	0
1月	697	355	328	14	0	1,394	1,574	88.6%	0
2月	660	259	311	16	0	1,246	1,628	76.5%	0
3月	1,047	262	373	9	10	1,701	1,575	108.0%	0
合計	9,850	3,652	4,546	185	55	18,288	18,302	99.9%	10
前年度 合計	9,609	3,998	4,562	45	88	18,302			8
前年度 比(%)	102.5%	91.3%	99.6%	411.1%	62.5%	99.9%			125.0%

令和6年度水戸市市民センター運営方針及び重点目標について

運 営 方 針

近年、人口減少社会や超高齢社会の到来をはじめ、都市化の進展、価値観の多様化、生活圏の拡大など、市民を取り巻く状況は大きく変化している。

こうした状況にあっても、市民が安心して暮らし、幸せを感じられる豊かな地域を形成していくためには、今後ますます地域コミュニティ活動と生涯学習活動の推進が必要となる。

市民センターにおいては、地域コミュニティ活動の拠点として、その継続や発展に向けた支援に努めるとともに、生涯学習活動の拠点として、その充実や成果を生かす環境づくりに努める。また、東日本大震災での経験や近年の台風大型化への警戒等を踏まえ、地域防災活動の拠点としての機能充実を図っていくものとする。

重 点 目 標

1 地域コミュニティ活動の推進

(1) 地域コミュニティ活動の活性化

ア 地域自らが地域の将来像や課題を共有し、特色のある地域づくりや課題の解決を進めることができるよう、地域コミュニティプランの実現に向けた取組への支援を促進し、住みよいまちづくり推進協議会を中心とした自主的な活動を推進する。

イ 各種コミュニティ団体等の活動を支援するとともに、NPO等との連携を促進しながら、よりよい地域づくりに向けた情報の共有化を進めるなど、地域コミュニティ推進体制の充実、連携強化を図る。

ウ 町内会・自治会への参加意識や自治意識の高揚を図るため、地域団体や関係機関と連携強化を図り、地域コミュニティ活動内容を積極的に発信するとともに、地区会の基盤である町内会・自治会の加入率の向上に努める。特に水戸市住みよいまちづくり推進協議会との協働により、「みと町内会・自治会カード」事業の更なる魅力の向上を図る。

エ 市民自らが意欲を持って地域活動に参加できるよう、一人一役運動を進めるほか、人材育成のための研修会を通して、地域を支えるリーダーづくりを推進する。

(2) 地域コミュニティ活動環境の充実

市民センターにおける様々な活動環境の一層の充実に向け、施設の利用状況や地域の実情等に合わせたコミュニティルームの積極的な利用を促進するとともに、長寿命化型改修の実施及び施設の利用者数や周辺の状況等を踏まえつつ狭あい駐車場の解消に努める。

また、各市民センターのホームページの中で、地域情報を積極的に発信し、それぞれの地域の魅力向上に努める。

(3) 地域防災活動との連携

災害発生時の初動対応については、地域における防災組織が重要な役割を担うものであることから、平常時より、地域での防災訓練への支援、地域における災害リスクや連絡体制の確認を行うなど、地域における防災組織との連携を図る。

2 生涯学習活動の推進

(1) 学習機会の充実

生涯学習活動の拠点施設である市民センターにおいては、どのような状況下でも学びを

止めることなく、「個人の要望」する学習による生きがいつくりを進めるとともに、家庭教育への支援や青少年の健全育成、少子・高齢化への対応などの「社会の要請」に応じた現代的課題を取り扱った学習機会を提供する。

そのため、水戸市における生涯学習事業を総称した「みと弘道館大学」に位置付けた、一般教養講座や定期講座を開催するとともに、みと好文カレッジにおける事業を活用しながら、市民のライフスタイルに定着し、生涯にわたって学び続けることができるよう、学習機会の充実に努める。

ア 市民ニーズを捉えた学習機会の提供

市民の学習ニーズを把握し、健康で生きがいのある充実した人生を送ることができるよう、生涯学習のきっかけづくりを図るとともに、それぞれの世代に合った学習機会の提供に努める。

イ 現代的課題を取り扱った講座の開催

変化の激しい社会情勢に対応していくため、成人学級、高齢者学級等の講座に現代的課題を取り扱ったテーマを組み入れるなどの手法により、地域課題を主体的に捉える学習機会の充実に努める。特に、デジタル・ディバイド解消のため、高齢者等に向けたICTリテラシーを身につける講座の充実に努める。

また、地域団体と市民センターが一体となった協働事業を積極的に展開する。

ウ 家庭教育や子育てを支援する講座等の開催

家庭は、子どもが基本的な生活習慣、生活能力、人に対する信頼感、豊かな情操、思いやりや善悪の判断、自立心や自制心、社会的なマナーなどを身につける上で重要な役割があることから、家庭教育について考える機会を提供するため、学校等における家庭教育学級や家庭教育講演会を開催する。

また、未就園児の保護者が家庭教育について学び、各家庭が家庭教育に自主的に取り組むことができるよう支援するため、家庭教育強化事業を実施する。

(2) 学習の成果を生かす環境づくり

生涯学習の成果がボランティア活動や地域づくりに生かせるよう、地域人材の発掘・育成を行い、地域の活性化や特色あるまちづくりに生かしていくための環境づくりを進める。

ア 地域資源の活用推進

市内には、歴史的な資産や史跡をはじめ博物館、歴史館などの文化施設、学校や大学などの物的資源やそれぞれの施設に所属する職員などの人的資源があり、豊かな地域資源に恵まれている。このような地域にある資源を活用した事業を開催するとともに、生涯学習の振興に取り組む機関や団体との連携を図りながら、地域資源の有効活用を推進する。

イ 学習の成果を発表する場の創出

市民センターを会場に開催している講座の展示会や発表会など、生涯学習の成果を発表する場を創出することにより、学習者同士や参加者との交流を拡大させ、新たなネットワーク構築に努める。

ウ 学習の成果を地域活動に生かす仕組みづくり

生涯学習の成果をボランティア活動や地域活動に生かすことが、地域の活性化に大いに役立つものと期待されている。市民センターで学んだ市民が、その成果を地域コミュニティ活動につなげられるよう、人材の育成と活用に努める。

エ 事業評価に基づく事業の推進

市民センターの講座や事業に参加した市民が日常生活の中で生涯学習の成果をどのように生かし、また、地域の中でどれだけ活動に関わっているのかなど、事業の成果を検証することが求められている。

市民センターにおいては、実施した講座や事業について自己評価を行うとともに、自己評価をもとに、運営審議会等第三者機関による検証を行い、効果的な事業運営を図る。

(3) 家庭・地域・学校の連携の強化

家庭・地域・学校が目標や課題を共有し、それぞれが連携して対応策について取り組む体制を構築し、地域社会全体の教育力の向上を図ることができるよう、市民センターにおいては、それぞれをつなぎ結ぶ地域拠点施設としての機能充実に努める。

ア 次代を担う子どもたちの「生きる力」を育む

地域、学校と連携を図りながら、様々な形で異なる世代での交流や大人と接する事業など、子どもたちが地域活動に参加する場を提供し、地域社会全体で次代を担う子どもたちの「生きる力」を育む活動の推進に努める。

イ 社会全体で支える家庭教育

子どもたちが健全に成長していくためには、良好な家庭環境や社会環境を整える必要がある。そのために、家庭の教育力の向上だけでなく、地域の人的資源を子育て支援事業や学校活動支援事業に活用し、家庭教育を地域社会全体で支える仕組みづくりに努める。

(4) 令和6年度事業計画

1 地域コミュニティ活動支援

(1) 地域コミュニティ活動の活性化

ア 地区会及び各種団体活動の支援関係

- ◆各種球技大会
- ◆ユニカール大会（5月21日，2月）
- ◆市民運動会（10月13日）
- ◆新莊夏まつり（7月21日）
- ◆地区会及び各種団体主催の講演会等
- ◆新莊地区歩く会（11月10日）

イ 市民センター運営審議会

- ◆運営審議会を，年2回開催（6月，令和7年2月予定）

(2) 地域防災の強化推進支援

- ◆防災体験ができる施設での防災体験学習（移動学習）

2 生涯学習活動の推進

(1) 高齢者・女性・児童対象等の事業（短期的講座等）

- ア 高齢者学級・・・・・・・・・・・・・高齢者
- イ 女性学級・・・・・・・・・・・・・女性
- ウ 子育てふれあい講座・・・・・・・・・・未就学児と保護者
- エ 夏休み子供教室・・・・・・・・・・・・・小学生
- オ 家庭教育強化事業・・・・・・・・・・未就園児と保護者
- カ 現代的課題・・・・・・・・・・・・・成人
- キ 新莊地区こどもエコクラブ・・・・・・小学生
- ク 新莊ふれあいまつり・・・・・・・・・・定期講座受講生，利用団体，地区住民

(2) 市民センター主体の定期事業（定期講座）

- ◆1・2才児の親と子の音楽あそび

(3) 受講生（クラブ）主体の定期事業（定期講座24クラブ）

- | | | |
|-------|----------|-------------|
| ◆手まりA | ◆手まりB | ◆歌謡 |
| ◆書道 | ◆ヨーガA | ◆ヨーガB |
| ◆ヨーガC | ◆ヨーガD | ◆ヨーガE |
| ◆囲碁 | ◆ダンススポーツ | ◆着付け |
| ◆コーラス | ◆卓球A | ◆卓球B |
| ◆絵てがみ | ◆石州流茶道 | ◆男子料理 |
| ◆童謡 | ◆ペン習字 | ◆古文書 |
| ◆太極拳 | ◆ふるさと歴史 | ◆フォークダンスさくら |

※5月から翌年3月までの期間（8月を除く）実施

(4) 関係機関団体との連携事業

- ◆いきいき健康クラブ
- ◆シルバーリハビリ体操
- ◆郷土カルタ大会
- ◆スポーツ推進委員中央ブロック球技大会
- ◆子育て広場

(5) 令和6年度定期講座（教室・クラブ）開設状況

単位：人（6月20日現在）

曜日	講座名	定員	継続	新規	合計	曜日	講座名	定員	継続	新規	合計
教室						土	童謡	35	32	3	35
金	1.2才児親と子の音楽あそび	30	X	28	28		ペン習字	18	14	2	16
							ヨーガD	13	10	3	13
小計		30	0	28	28		古文書	20	10	2	12
クラブ							太極拳	24	22	2	24
月	手まりA	15	10	1	11		ふるさと歴史	24	16	2	18
	手まりB	15	13	2	15		ヨーガE	13	10	3	13
	歌謡	22	13	0	13						
火	書道	20	15	2	17						
	ヨーガA	13	12	1	13						
水	囲碁	20	12	1	13						
	ダンススポーツ	20	13	3	16						
	フォークダンスさくら	20	11	1	12						
	ヨーガB	16	14	2	16						
木	ヨーガC	16	14	2	16						
	着付け	17	13	3	16						
	コーラス	20	13	1	14						
	卓球A	23	19	4	23						
	卓球B	20	12	4	16						
金	絵てがみ	25	19	1	20						
	石州流茶道	15	11	2	13						
	男子料理	13	11	2	13						
小計		310	225	32	257	小計		147	114	17	131
合計								487	339	77	416

新規受講者数 77名

継続受講者数 339名

総受講者数 416名